

電気系同窓会活動状況

—活性化WGの活動—



2016/10/15
パネル討論会

2017年8月4日

東大電気系同窓会
活性化WG

活性化WGのメンバー

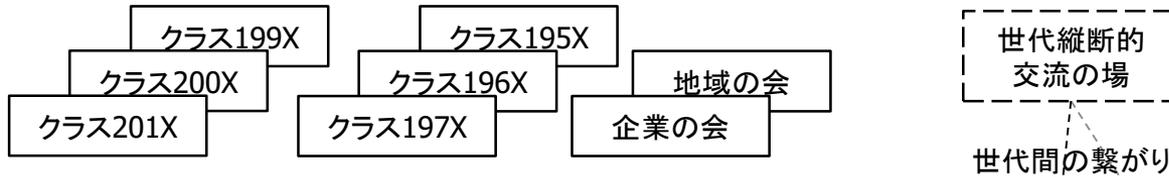
メンバー(47名)

卒業年代	学内関係(23名)	学外関係(24名)
1970~1979	堀洋一77	小粥幹夫70、広瀬啓吉72、菊池和朗74、新谷洋一75、渡部直也75、畠山靖彦76
1980~1989	相田仁80、中野義昭82、田畑仁88教、古関隆章86、山下真司88	江村克己80、荒川薫80、濱中直樹83、小路元85、相澤彰子85、大谷淳一86
1990~1999	根本利弘90、池田誠91、苗村健92、小野亮95、河野崇96教、山崎俊彦99、	岡本裕介90、三浦剛志91、宝珠山治91、大谷朋広92、國頭吾郎95、諏訪啓97、今村祐介98、川田雅人99
2000~2009	野村政宏00教、種村拓夫01、	
2010~ 学生メンバー	成末義哲12、秦佑介16、栗本健有17、大塚麻以17、林拓巳18、中村信18、宮里俊太郎19、宗像佑弥19	松井勇祐11、西田祐木12、嶋紘之15、樋口海里15、
事務局	南佳子	

数字:西暦下2桁

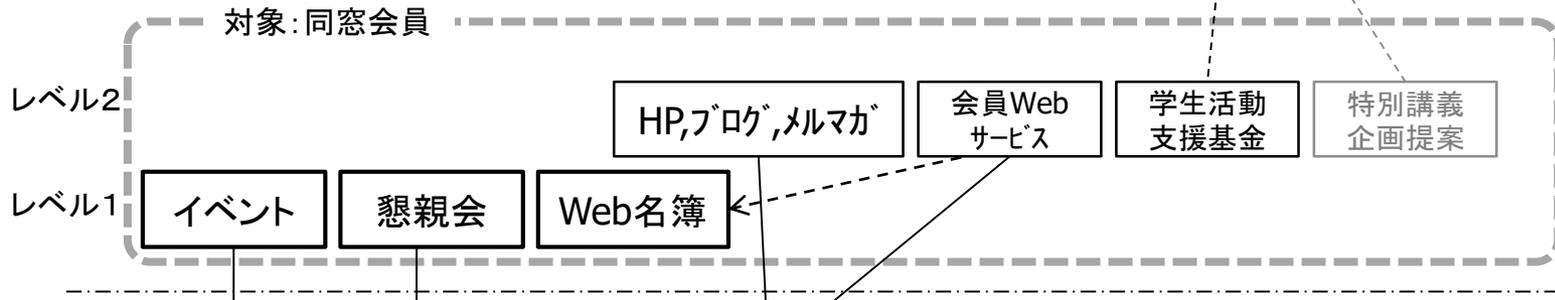
活動領域

<コミュニティ階層> 会員が主催する集まり



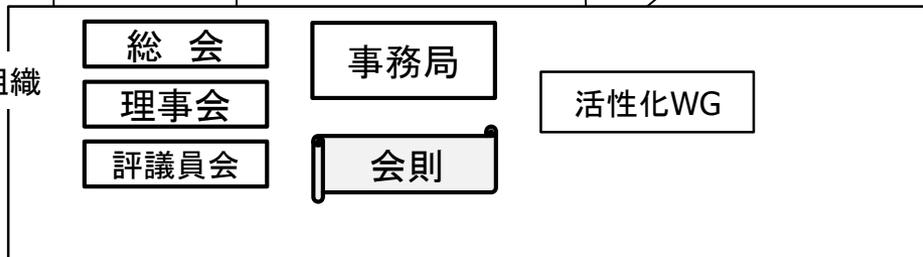
<サービス階層> 会員に提供する各種サービス

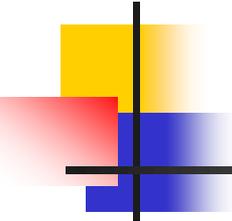
学部生の活動支援
大学院生を
学術支援



<コア階層>

同窓会の運営組織





これまでの活動成果

- 世代間の繋がり醸成
 - 学部の学生活動支援: 五月祭委員会に募金支援
⇒ 進学振分けに一定の効果
- 同窓会総会・イベントの継続
 - 興味あるテーマで総会イベントを企画・実施
 - これまでに、2016年「深層学習」、2015年「IoT」、2014年「東大電気系の歴史」、2013年「ビッグデータ」など

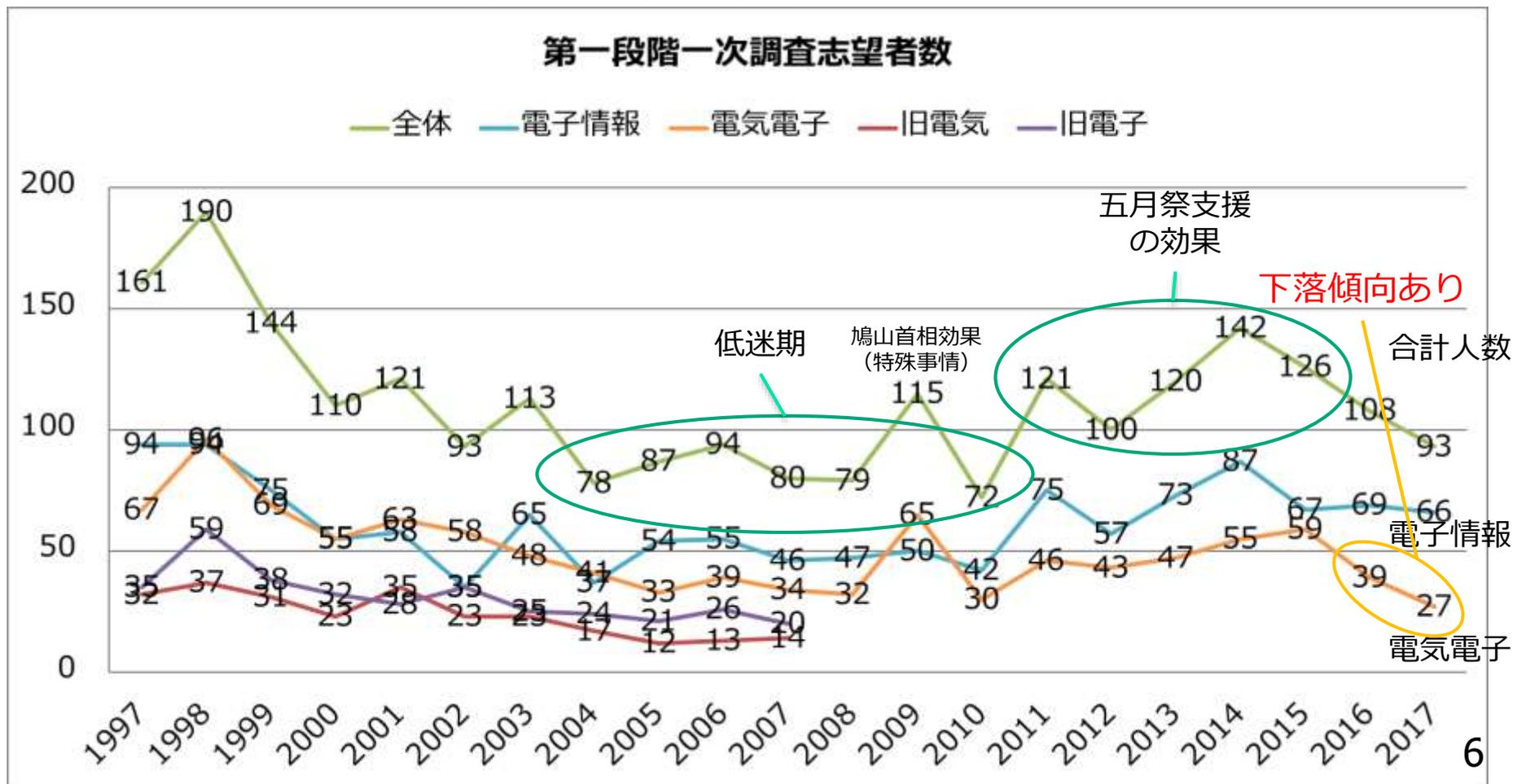
成果：学部学生への活動支援

- 電気系特別展示「近未来体験2017」
 - 4年生、3年生で実行委員会を構成
- 例年通り同窓会会員が寄付支援
- その結果
 - 五月祭の学術文化展示部門で惜しくも優勝成らず（優勝は医学部）
 - しかし今年も、駒場生他に電気系の魅力をアピール
 - 駒場からの進学振り分けで、2011年より支援効果が見られたが、昨年より電気電子の一次志望者数は下落傾向
⇒進学選択方式による9月動向に注目



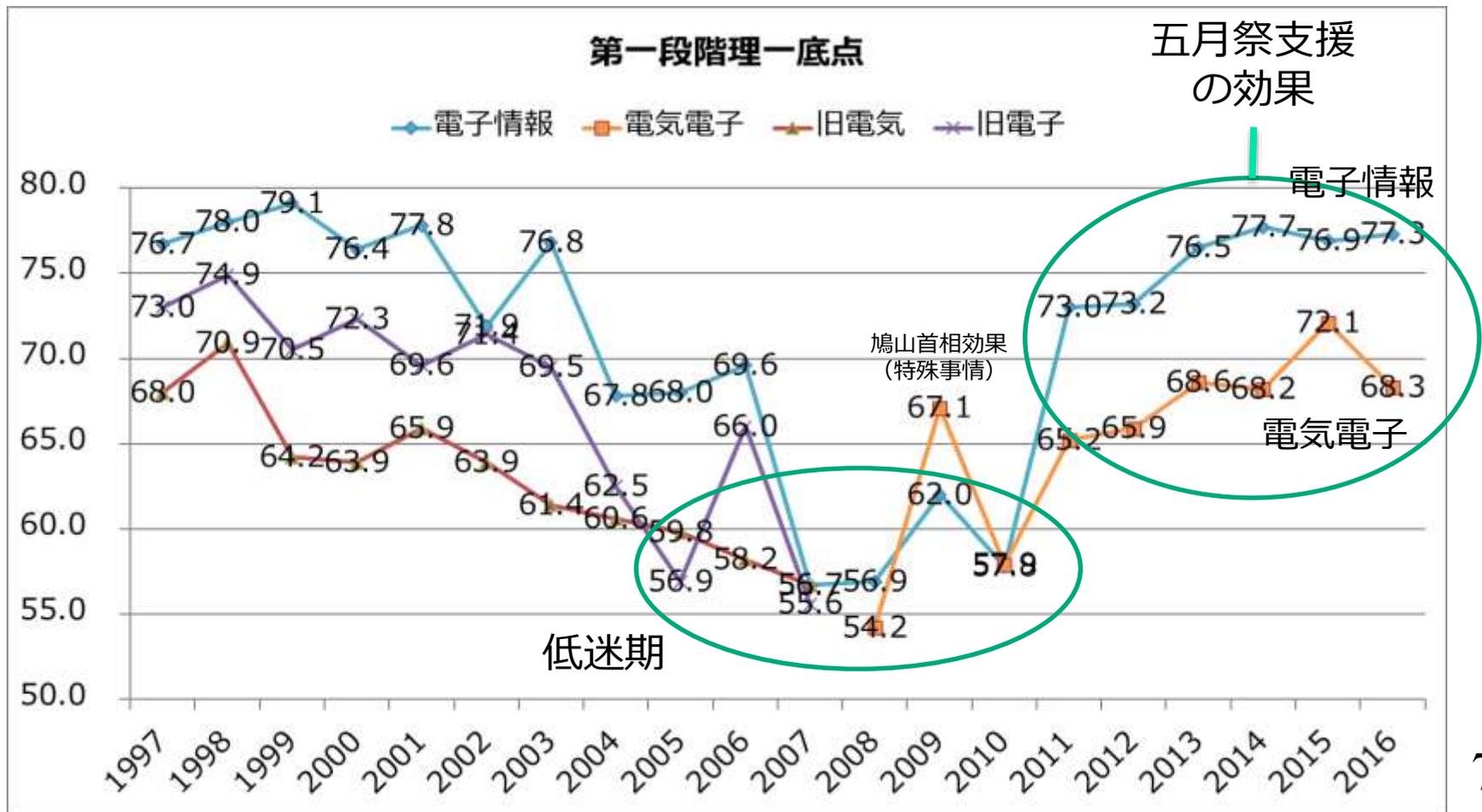
進学振分けへの効果(今年の経過)

2017年6月段階での希望者数



進学振分けへの効果(昨年の結果)

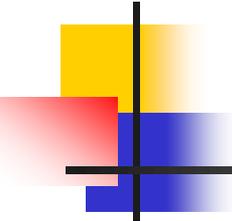
- 2016年9月時点での底点(理一)



成果：講演会・総会・懇親会

- 講演会、学生実験デモ：
 - 講演会「深層学習をとりまく技術展望」を開催（東大松尾豊氏、NEC江村克己氏、東大鶴岡慶雅氏）
- 総会
 - 2015年度事業報告、次年度事業計画、役員交代、活性化WGの報告、学部生より五月祭の報告など
- 懇親会
 - 講演会の続きとしてリラックスしたパネル討論後、懇親会が和やかに開催される





今年度の活動計画

- 2017年総会・イベントの企画・実施
 - 講演会テーマ案:「なぜ、いまバーチャルリアリティなのか?」
 - 講演者調整中: 東大苗村氏／畑田氏、Oculus白鳥氏、ジョリーグッド上路氏
- 学生活動支援(五月祭支援など)
 - 基金の効果的な活用方法
 - 継続的に活動支援ができるような仕組み
- 同窓会発足60周年記念行事
 - 1957年(昭32年)5/19、第21回同窓懇親会に併せ同窓会発足式
 - 本年2017年は同窓会発足、満60年
 - 記念事業として「同窓会の名前をつけよう！」

<参考> 同窓会の歴史

参考文献:

会報 1号(昭32):第21回 同窓懇親会記事

会報23号(昭53):神話時代の同窓会—桜岡会のこと—/古賀逸策、齊藤忠夫、川上潤三

年(和暦)	月/日	主な行事
1916(大5)	3/14	第1回 桜岡会 …以降、毎年3/14に桜岡会開催
1933(昭8)	3/14	第18回 桜岡会
1934(昭9)	3/23	第1回 同窓懇親会 …以降、毎年同窓懇親会開催 (但し、戦争のため昭19、20、21年は開催せず)
1956(昭31)	5/19	第20回 同窓懇親会 同窓会の設立を発議し、32名による準備会発足 <基本方針>理事会、会費徴収、名簿整備
1957(昭32)	5/19	第21回 同窓懇親会 同窓会発足式
	10月	同窓会報(1号)発行 …以降、毎年同窓会総会、懇親会を開催
2017(平29)		第81回 総会 <同窓会設立 満60年>

<参考>同窓会サイトの利用状況

- 2016年度のアクセス数は2,3年前の値に落ち着く

